



今日のキーワード 今年を振り返るキーワード6 最高の『ラグビーW杯』

9月20日から開催された『ラグビーワールドカップ（W杯）』日本大会は予想以上に盛り上がり、観客動員数は延べ約170万人超と発表されました。ワールドラグビーの会長は「最も偉大なW杯」と高く評価しました。日本代表チームは史上初のベスト8となる快挙を成し遂げ、チームのスローガン「ONE TEAM」が流行語大賞となるなど、『ラグビーW杯』日本大会は2019年に最も盛り上がったスポーツイベントとなりました。

ポイント1 最も偉大な『ラグビーW杯』と高評価 日本代表チームが活躍、「ONE TEAM」人気

- 9月20日からアジアで初めて開催された『ラグビーW杯』日本大会は予想以上に盛り上がり、大会組織委員会は、観客動員数延べ約170万人超（中止となった3試合を除く）と発表しました。国際統括団体ワールドラグビーの会長は「最も偉大なW杯として記憶に残る。日本は開催国として最高だった」と高く評価しました。
- 日本は今大会の優勝国南アフリカに敗れましたが、史上初のベスト8となる快挙を成し遂げ、日本代表チームのスローガン「ONE TEAM」は2019年の新語・流行語大賞の年間大賞となるなど、今年最も盛り上がったスポーツイベントとなりました。

ポイント2 『ラグビーW杯』で訪日客や インバウンド消費にプラス効果

- 『ラグビーW杯』の効果は訪日外客数でも確認され、日本政府観光局（JNTO）が発表した2019年9月-10月の『ラグビーW杯』全出場国からの訪日客は、前年同期比29.4%増の76万4千人となりました。
- 11月も『ラグビーW杯』の効果は続き、ウェールズやイングランドなどの強豪が勝ち進んだことから、訪日英国人数が前年同月比37.5%増加しました。ラグビーの盛んな欧米豪からの訪日客は、宿泊費が高く平均宿泊数が多い傾向があり、旅行消費額の増加に寄与しています。

ONE TEAM



今後の展開 2020年はスポーツ関連イベントによるインバウンドに期待 東京オリンピック、ジャパンラグビートップリーグ等による消費押し上げに注目

- 2020年1月12日からはジャパンラグビートップリーグ、7月27日からは東京オリンピックでの7人制ラグビー予選ラウンドが予定されています。「ルールを覚えてもらいながら観戦する楽しみを知った」とにわかファンが急増したラグビーの人気はまだまだ続きそうです。
- 『ラグビーW杯』日本大会の経済効果は、大会組織委員会の試算で4,370億円と報道されましたが、東京オリンピックの経済効果については、東京都がその需要増加額を直接効果で約2兆円と試算しており、東京オリンピックの期間を通して需要を押し上げると見られます。2020年もスポーツ関連イベントに注目が集まり、インバウンドを含め消費を力強く支えることが期待されます。

ここもチェック! 2019年12月26日 今年を振り返るキーワード5 『金融緩和』 2019年12月25日 今年を振り返るキーワード4 社運をかけた大型『M&A』が増加

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。